

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	現在、利用者の家族との外出頻度は、1回以上／月(20%)・1回以上／年(43%)である。職員との外出は延べ30回以上／年実施しているが参加できるのは利用者の60%ぐらいである。この数値はホームとしてはもう少し増やしたいと思っている。利用者のADLを考慮すれば、マンツーマンでの外出を強いられる問題がある。外出を自らの目的を持って外出希望ができる利用者は、現在は1名である。自ら希望を訴えることができない利用者を楽しんでもらえる外出を提供して行きたい。	年間行事の中で外出はあるが、行事と考えないで毎日の生活の中に外出を取り込んで行き、回数を増やしていく。 * 職員との個別外出30回以上／年→50回以上／年にする * 家族との外出頻度1回以上／月(20%)→50%以上にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食材の購入時などに積極的に利用者を誘っていく。</li> <li>・ 近隣で催される行事を把握して参加して行く。</li> <li>・ 家族に気分転換を依頼する。</li> <li>・ 喫茶店、散歩などを増やして行く。</li> <li>・ 利用者からの希望を聞き、楽しんでもらえそうな外出計画を立てる。</li> </ul>	12ヶ月
2					
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。